

キャラクター名 アルティアー・ファールクロイス プレイヤー名 _____

種族	レプラカーン	種族特徴	暗視、見えざる手、姿なき職人		
生まれ	神官	性別	女性	年齢	17
冒険者Lv	14	経歴	両親に愛されて育った		
経験点	880		旅をしたことがない 大病を患っていたことがある		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	10	器用度	11	9	30	5
		敏捷度	4	4	18	3
体	5	筋力	2	2	9	1
		生命力	3	11	3	22
心	8	知力	10	13	31 + 2	5
		精神力	9	18	35	5

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
プリースト/ティダグ	14						
セージ	10						
バード	4						
ライダー	10						

戦闘特技	
ルーンマスター	1B34p
鋭い目	2120p
弱点看破	2121p
マナセーブ	2123p
武器習熟A/スタッフ	1-281p
魔法拡大/数	1-289p
MP軽減/プリースト	1-283p
ディフェンススタンス	1-287p
ダブルキャスト	2-234p
魔法拡大/すべて	1-290p
マリオネット	2-230p
	p
	p
	p
	p
	p
	p
	p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー	7		3
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値			0 3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器である ライナさんにもらった	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+ 0	3	64

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 15	2d+ 0	2d+ 17	2d+ 19	77

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	14	20			

装備品	説明
頭 スマルティエのフルトパズ	両親の想いが詰まっている<勇氣・出会い>
耳 スマルティエのアクアマリンの耳飾り	両親の想いが詰まっている<癒し・調和>
顔 聖印<ティダグ>	ティダグの神官であることを示す
首 スマルティエの銀鎖	
背中 スマルティエのアドゥルハット	街中では人目を避けるためにかぶっている
右手 知力の指輪	知力+1。壊すと+13
腰 日輪のバックル	アンデットに対する精神・生命抵抗+1
足	
その他 聖王の冠	回復魔法で威力表を使うとき、1/30でも「魔力」点分回復する

装備品	説明
└ 幸運の首飾り	戦利品決定の出目に+1
左手 スマルティエの知力の腕輪	
女神のヴェール	神聖魔法の回復がクリティカルするようになる

その他メモ	自動失敗 チェック
冒険に出た理由：親に反発して	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
小さな遺跡の中で両親と暮らしていた。私にとって両親と遺跡の中が世界の全てだった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
両親は彫金師で、時折作品を売りに行き、何不自由ない生活ができていた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
ある日、遺跡の奥へ一人で散歩に行った時に翼を起動させてしまい。厄いな呪いを受けてしまった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
両親は何とか呪いを解こうと方々を駆けずり回ったが、閉じた世界の中で暮らしてきた私達家族はあまりにも外の世界に無知だった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑
解説方法は見つからず、日に日に私は衰弱していった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒
それは突然の出来事だった、私たち家族が住む遺跡に冒険者が訪れた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓
上手く隠れることができなかった私達は冒険者に発見され、パーティーの中の治療師に診られ、適切な解説を施してもらった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉔
すぐに効果は表れ、私は一命を取りとめた。両親は涙を流して感謝していた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
私は外の世界に強く興味を惹かれるようになった。両親は私が遺跡の外へ出ることを反対した。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉖

